

2008年度第3四半期決算説明会



三菱自動車工業株式会社

2009年2月4日

2008年度 第3四半期決算 及び 通期業績見通し



青砥 修一

取締役 (経営企画・経理統括部門担当)
経理本部長

(単位: 億円, 千台)

減収、減益 ～急激な市場環境変化による台数減少、為替円高影響が主要因～

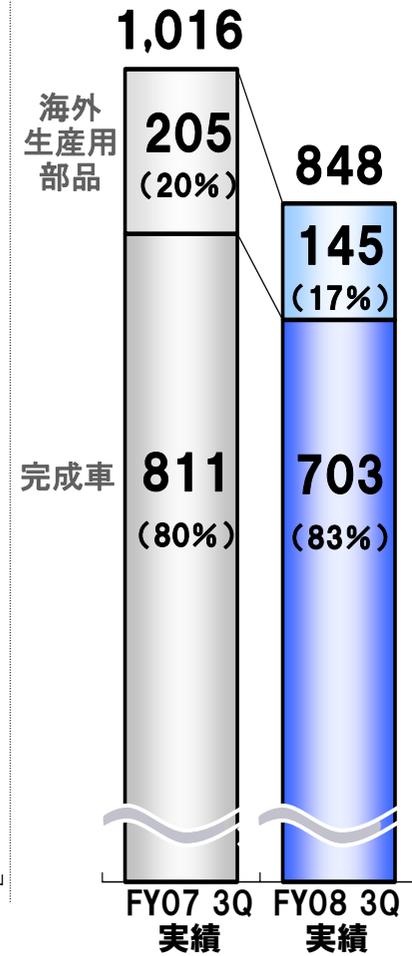
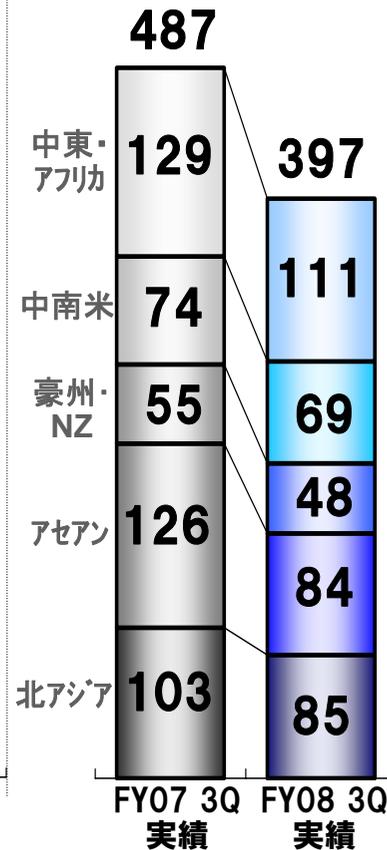
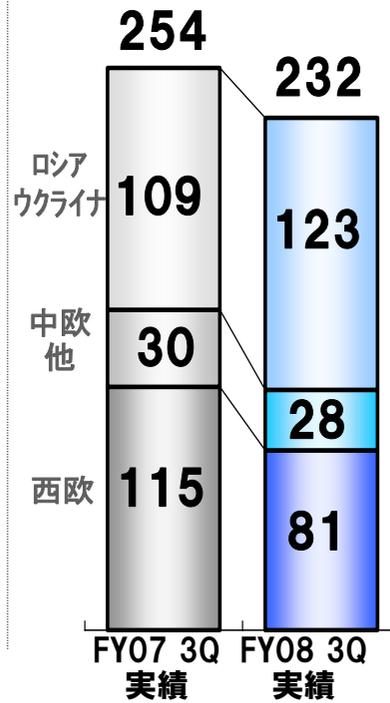
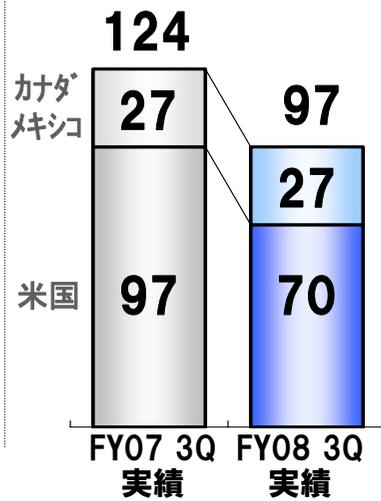
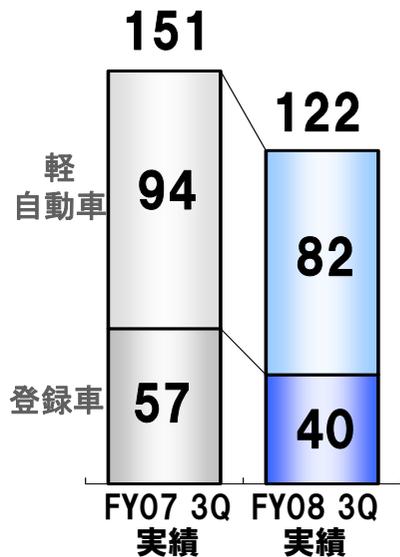
	FY07 3Q ('07/4-12) 実績①	FY08 3Q ('08/4-12) 実績②	差 ② - ①
売上高	19,473	16,581	-2,892
営業利益	520	199	-321
経常利益	393	47	-346
当期利益	217	-48	-265
販売台数 (小売)	1,016	848	-168

注: 販売台数はOEMを除く。FY08 3Q販売台数実績は速報値

地域別販売台数実績【9ヵ月累計、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年同期(9ヵ月累計)対比増減》				
-29 (-19%)	-27 (-22%)	-22 (-8%)	-90 (-19%)	-168 (-17%)

(単位:千台、小売)

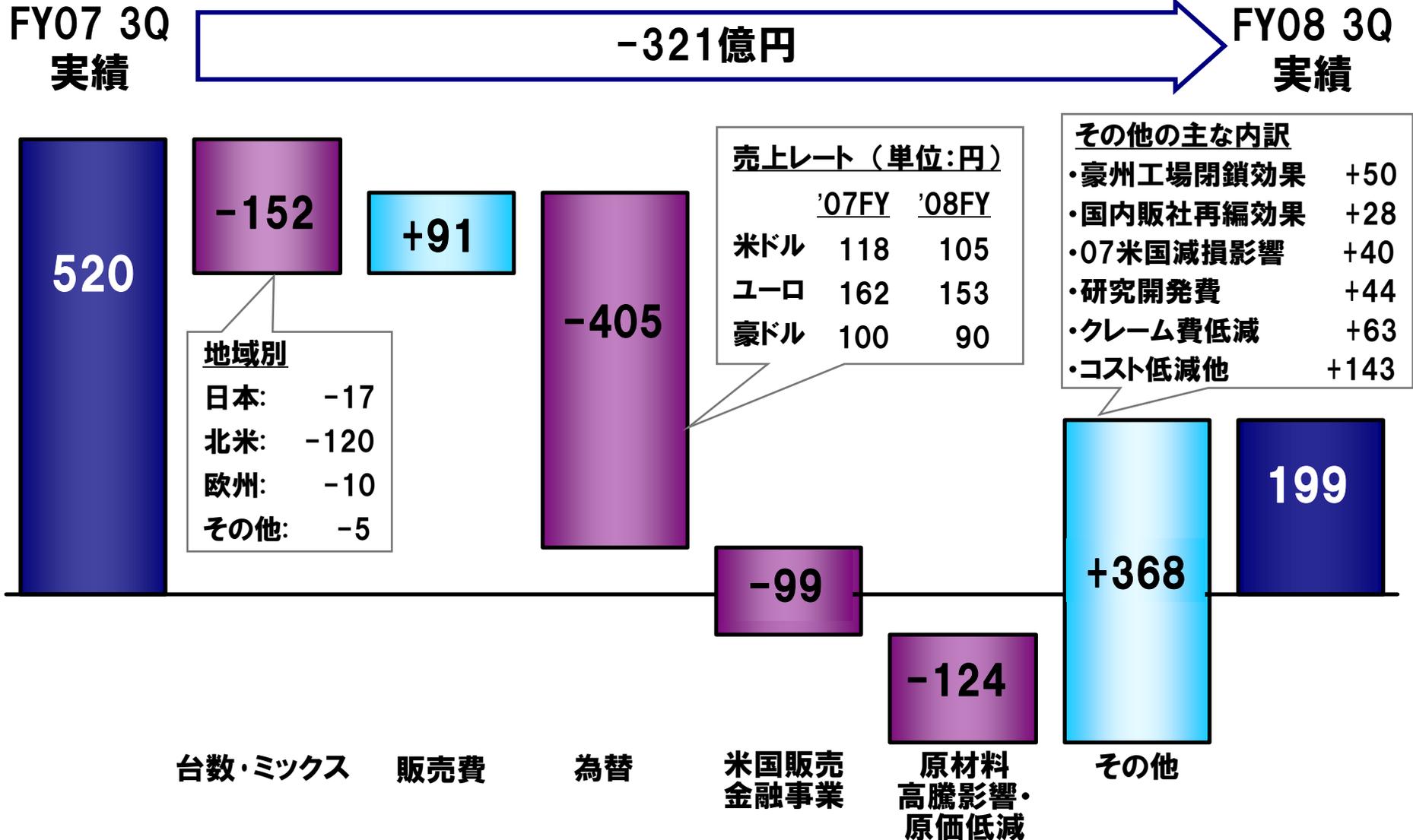


注:販売台数はOEM供給を除く。FY08 3Q販売台数実績は速報値。プエルトリコの台数は、FY07 3Q(9千台)、FY08 3Q(7千台)ともに中南米に含む。

営業利益増減分析 【9ヵ月累計、前年同期対比】

(単位：億円)

台数減少、為替円高と原材料高騰の影響が主要因



営業外損益、特別損益等【9ヵ月累計、前年同期対比】

(単位：億円)

	FY07 3Q ('07/4-12) 実績①	FY08 3Q ('08/4-12) 実績②	差 ② - ①	
営業利益	520	199	-321	
営業外損益	-127	-152	-25	主な内訳 ・利息収支 +47 ・外国為替差損益 -37 ・持分法投資損益 -22
経常利益	393	47	-346	
特別損益 及び法人税等	-176	-95	+81	・特別損益 -5 ・法人税等 +86
当期利益	217	-48	-265	

貸借対照表 【前年度末対比】

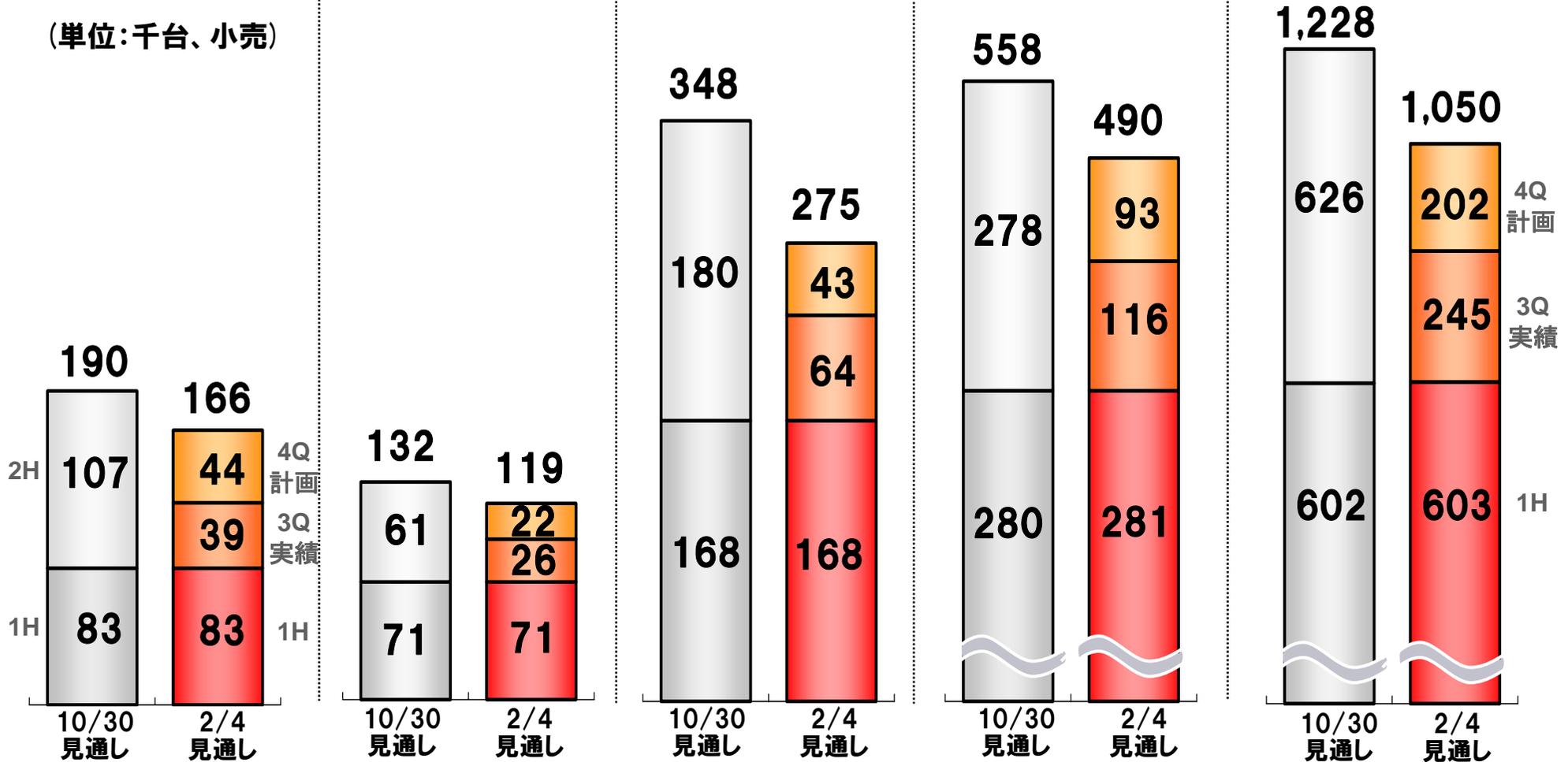
(単位: 億円)

	FY07末 (08/3E)	FY08 3Q末 (08/12E)	増減
資産合計	16,094	13,684	-2,410
うち 現金預金	3,559	2,680	-879
売上債権	1,741	944	-797
たな卸資産	2,996	2,590	-406
負債合計	12,813	11,130	-1,683
うち 仕入債務	4,237	3,074	-1,163
有利子負債	3,539	3,609	+70
未払金・未払費用	1,785	1,231	-554
純資産合計	3,281	2,554	-727

2008年度通期見通し 地域別販売台数 【前回見通し(10/30)対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前回見通し(10/30)対比増減》				
-24 (-13%)	-13 (-10%)	-73 (-21%)	-68 (-12%)	-178 (-15%)

(単位:千台、小売)



注:販売台数はOEMを除く。10/30公表値1H および2/4公表値 3Qは実績(速報値)。

(単位: 億円, 千台)

	FY08 前回見通し①	FY08 修正見通し②	差 ② - ①	【参考】 FY07 実績
売上高	23,600	20,100	-3,500	26,821
営業利益	500	50	-450	1,086
経常利益	430	-200	-630	857
当期利益	200	-600	-800	347
販売台数 (小売)	1,228	1,050	-178	1,360

為替前提レート		上期	下期	通期	4Q	下期	通期
		米ドル	106	95	101	90	93
ユーロ	164	125	144	120	124	143	
豪ドル	98	65	81	60	63	80	

-450億円の増減内訳

・台数・ミックス	-600
・為替	-40
・販売費	+40
・コスト低減他	+150

緊急事態への取り組み



益子 修
取締役社長

在庫圧縮のための生産調整

- FY08世界生産台数 ▲約33万台（期初計画比）
 - 国内拠点：約▲20万台
 - 海外拠点：約▲13万台

費用削減の徹底

- ダカールラリーからの撤退
- モーターショーへの参加及び規模見直し
- 役員報酬の削減幅拡大（09年3月より）
- 管理職の賃金削減（09年3月目処）
- 追加原価低減と販売費、一般管理費の聖域なき見直し

投資の厳選

設備投資額 ▲30%（FY08下期計画）

- 岡崎塗装工場新設（能力増強）の延期
- エンジン生産能力増強の中止
- ロシア新工場における中型SUV生産開始時期の見直し

人財資源の有効活用

- 国内販売会社への人員派遣（約170名）
- 海外子会社の機能スリム化と人員体制の見直し

環境対応技術への投資継続

- EV事業の展開
 - ⇒ 2009年夏、「i MiEV」国内市場投入
 - ⇒ 2010年以降、左ハンドル市場へも順次拡大方針
- 小型、低燃費車の積極投入
 - ⇒ アイドリングストップ車/FFVの展開拡大
 - ⇒ グローバルスモールの世界展開



『i MiEV SPORT AIR』(スケッチ)

重点市場における販促施策

- 中国 : 新販売会社設立 (2009年4月営業開始)
- ブラジル: 南米市場への輸出本格化及び人的支援
- 新型「ランサー」現地生産開始: 2009年10月 タイ
2009年12月 フィリピン、中国

個別事業提携の推進

- プロトン社 : 中型乗用車生産開始 (2010年春)

■ 2008年度第3四半期累計実績（9ヶ月累計）

減収、減益 ～急激な市場環境変化による台数減少、為替円高影響が主要因～

- **販売台数**：前年同期比17%減少（日本、北米、欧州、アジア他の全地域で減少）
- **売上高**：前年同期比15%減収（販売台数減少、為替円高影響など）
- **損益**：営業利益は前年同期比62%減益の199億円
（費用・コストの削減を推進するも、販売台数減少、為替円高影響などで減益）
経常利益、当期利益もそれぞれ減益となり47億円、△48億円

■ 2008年度通期見通し

見通しを下方修正 ～在庫圧縮、コスト・経費の徹底削減を加速し、将来に備える～

- **販売台数**：見通しを178千台引き下げ1,050千台（10/30公表対比15%減）
- **売上高**：販売台数減少、為替円高影響を織り込み、見通しを3,500億円引き下げ2兆100億円（10/30公表対比15%減）
- **損益**：営業利益は50億円の黒字を目指す
（台数減少・為替円高影響大、在庫圧縮、コスト・経費の徹底削減を加速）
経常利益、当期利益も変更し、それぞれ△200億円、△600億円

添付資料

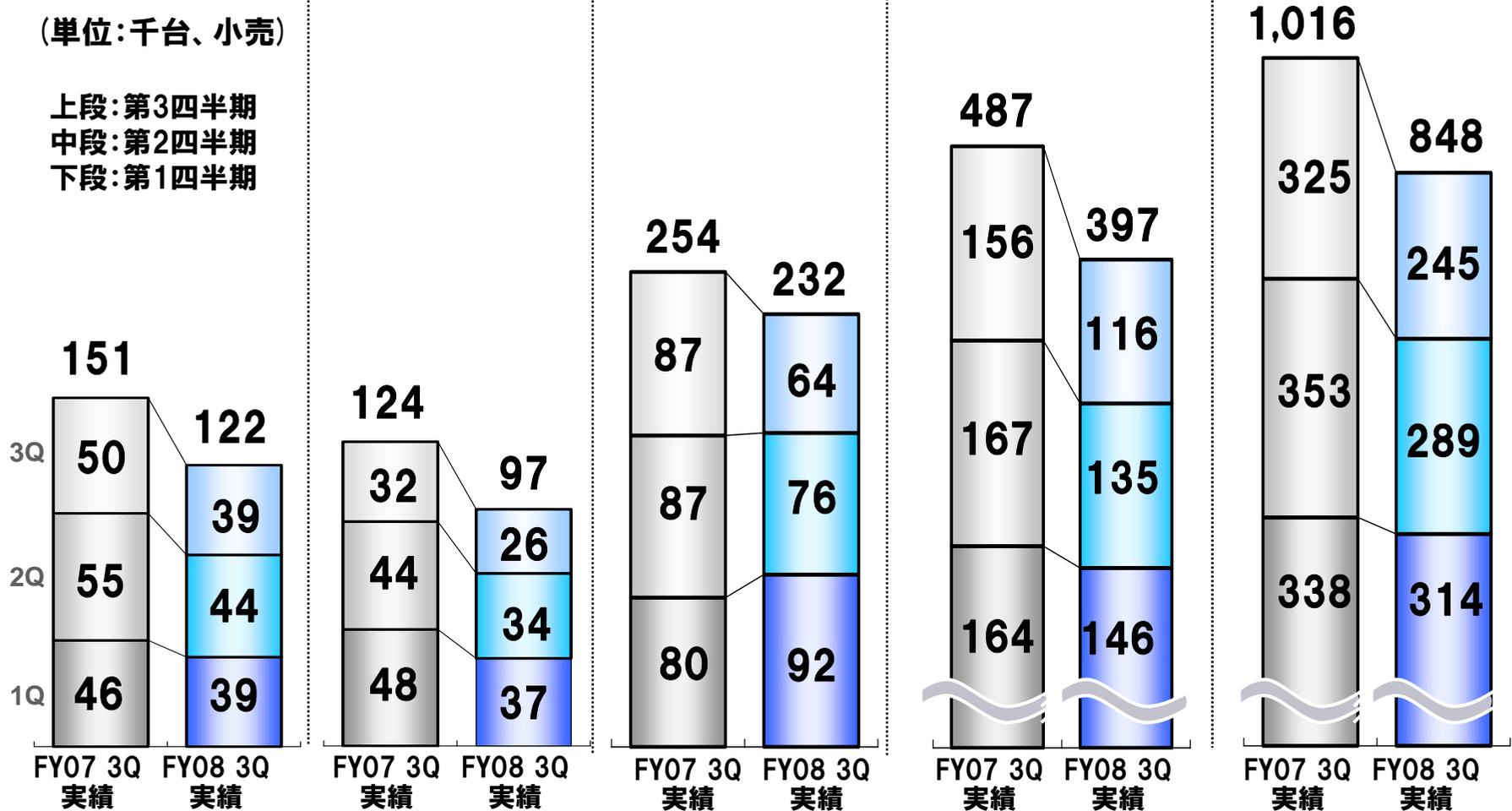


2008年度第3四半期累計 地域別販売台数実績【前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年同期対比増減》				
-29 (-19%)	-27 (-22%)	-22 (-8%)	-90 (-19%)	-168 (-17%)

(単位:千台、小売)

上段:第3四半期
中段:第2四半期
下段:第1四半期



注:販売台数はOEMを除く。FY08 3Q販売台数実績は速報値

(単位: 億円, 千台)

	FY08 1Q ('08/4-6)	FY08 2Q ('08/7-9)	FY08 3Q ('08/10-12)	FY08 3Q ('08/4-12) 累 計
売 上 高	6,101	6,039	4,441	16,581
営 業 利 益	99	155	-55	199
経 常 利 益	162	47	-162	47
当 期 利 益	103	25	-176	-48
販売台数 (小売)	313	290	245	848

2008年度第3四半期累計 地域別業績 【前年同期対比】

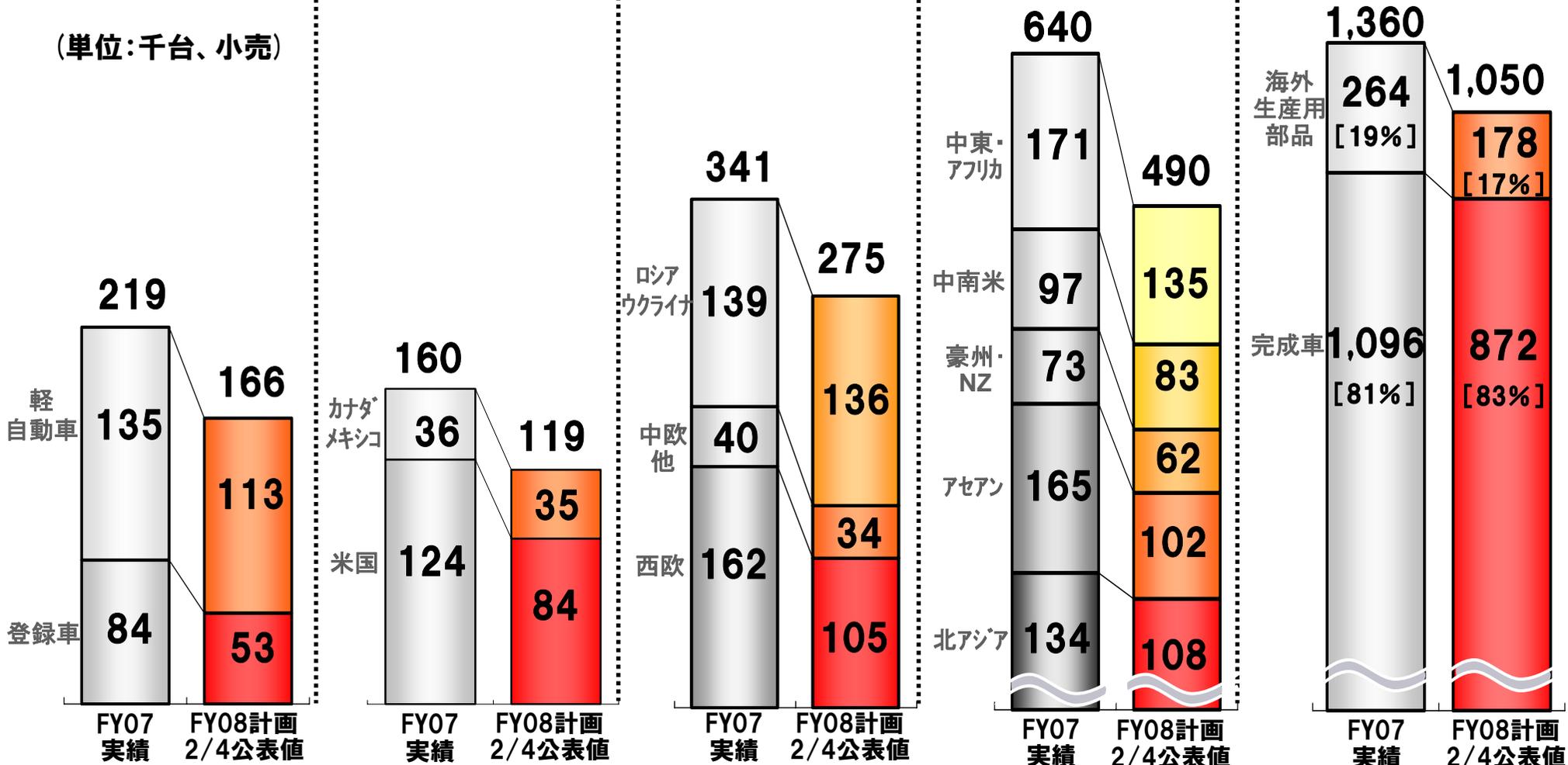
(単位: 億円)

	FY07 3Q ('07/4-12) 実績①	FY08 3Q ('08/4-12) 実績②	増減 ②-①
売 上 高	19,473	16,581	-2,892
- 日本	3,443	2,988	-455
- 北米	3,067	1,965	-1,102
- 欧州	6,579	5,665	-914
- アジア・ その他地域	6,384	5,963	-421
営 業 利 益	520	199	-321
- 日本	-228	-146	+82
- 北米	-94	-270	-176
- 欧州	400	180	-220
- アジア・ その他地域	442	435	-7

2008年度通期見通し 地域別販売台数計画 【前年実績対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年実績対比増減》				
-53 (-24%)	-41 (-26%)	-66 (-19%)	-150 (-23%)	-310 (-23%)

(単位:千台、小売)



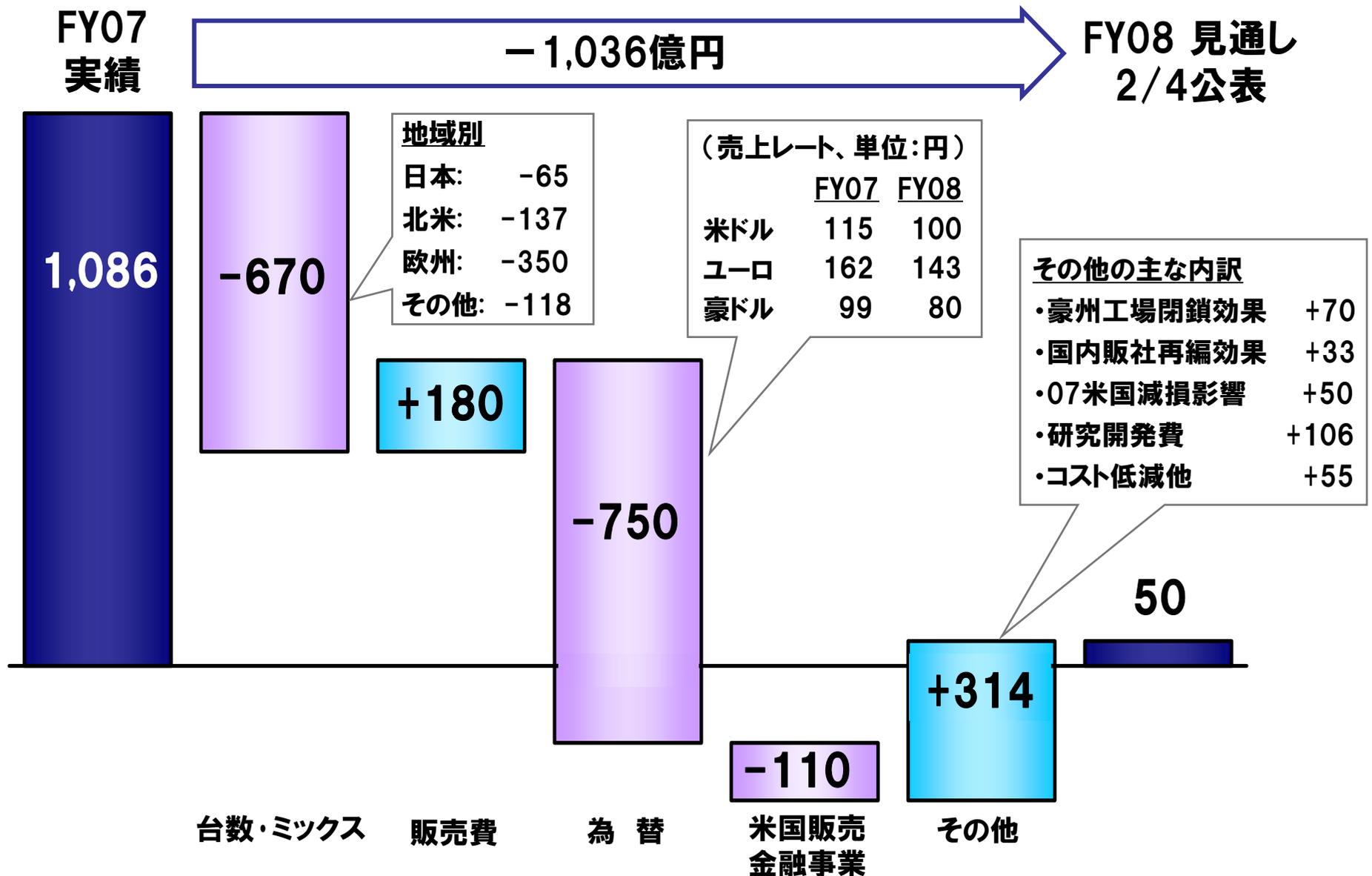
注:販売台数はOEM供給を除く。プエルトリコの台数は、FY07(12千台)、FY08(9千台)ともに中南米に含む。

(単位: 億円)

	FY07 実績	FY08 10/30公表値	FY08 2/4公表値
売上高	26,821	23,600	20,100
- 日本	4,885	4,500	4,000
- 北米	4,027	2,700	2,350
- 欧州	9,316	8,000	6,400
- アジア・ その他地域	8,593	8,400	7,350
営業利益	1,086	500	50
- 日本	-189	-140	-150
- 北米	-178	-330	-380
- 欧州	797	230	60
- アジア・ その他地域	656	740	520

2008年度通期見通し 営業損益増減分析【前年実績対比】

(単位：億円)



2008年度 ニュースハイライト [第3四半期以降]

2008年10月

- ✓ パリモーターショーでスポーツハッチバック『ランサースポーツバック』を世界初披露
- ✓ インドに新型車『アウトランダー』投入を発表
- ✓ パジェロ 新長期規制適合のディーゼルエンジン搭載車発売
- ✓ 京都府とGSユアサの共同研究に「i MiEV」を使用
- ✓ 2008年度通期連結業績予想数値の修正を発表

2008年11月

- ✓ 新世代電気自動車「i MiEV」を成田空港でも試験導入
- ✓ 郵便事業株式会社が新世代電気自動車『i MiEV』を試行配備

2008年12月

- ✓ 5ドアハッチバック車 新型『ギャラン フォルティス スポーツバック』を発売
- ✓ 日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2008」に『i MiEV』と『パジェロ』(ディーゼルエンジン搭載車)を出展
- ✓ プロトン社(マレーシア)との新型車両の開発・生産に関する契約を締結
- ✓ 環境省、電気自動車等に係る実証試験に『i MiEV』を使用
- ✓ モナコ公国で新世代電気自動車『i MiEV』の試乗会を実施
- ✓ 商用車、新型『ランサーカーゴ』を発売

2009年 1月

- ✓ 株式会社ローソンが新世代電気自動車『i MiEV』を試行配備

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。



Drive@earth



mitsubishi motors